



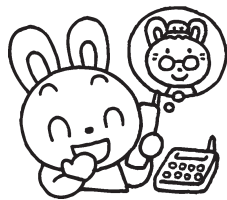
# 9月の園だより

平成26年9月号 太陽の子保育園

まだ残暑の厳しい日が続くようですが、時折吹く風に秋の気配を感じるようになってきました。楽しかったお盆休みも終わり、子ども達は日常の生活リズムを少しずつ取り戻しています。夏の間、水遊びやプール遊びでにぎやかだった子どもたちも、今月からは運動会の練習をする声でにぎやかになりそうです。朝と日中の気温差が大きく、夏の疲れが出やすい時期ですので、水分補給や休息を十分にとりながら、子ども達の健康・安全に気をつけていきたいと思えます。ご家庭でも規則正しい生活を心がけていただければと思います。

## 9月15日は敬老の日です

今年15日が敬老の日にあたります。敬老の日は多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、また長寿を祝う日です。核家族化が進み、日常生活では高齢者と過ごす機会が少なくなりがちです。それでも高齢者との交流で子どもたちは、普段私たちが与えられない、素朴で心温まる話や知恵をもらえます。またおじいちゃん、おばあちゃんにとっても、子どもたちの純粋な笑顔やお話は、最高の贈り物になっているようです。まずは一番身近で、大好きなおじいちゃん、おばあちゃんに「いつもありがとう。いっぱい長生きしてね」と伝えるのもいいですね。遠方に住んでいて、普段会えないおじいちゃん、おばあちゃんには電話などでお祝いの気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか。



### 9月12日(金) 敬老の日 ふれあい会食会

年長児の祖父母の皆様・近隣の皆様と、園児が、賑やかに昼食の時間を過ごす会です。

### 運動会に向けて、らいおん組にてたまっ子座さんより太鼓指導してもらいます



毎年SUN太お楽しみ会で素敵な太鼓を披露していただいている「たまっ子座」さんによる太鼓指導を実施します。指導と言っても技術的な内容ではなく、太鼓の楽しさやかっこよさを実感し、運動会へのモチベーションアップを図ることが中心となります。

同日午後に職員を対象とした「太鼓指導のための研修」も実施してもらいます。こちらは技術的な内容が中心です。

## 9月の予定

- 1日(月) 防災訓練(受け渡し)
- 3日(水) 太鼓指導(らいおん)
- 3日(水) 幼児体育指導(職員)
- 5日(金) 調理保育(くま・らいおん)
- 9日(火) 心理巡回指導
- 10日(水) 音楽指導
- 11日(木) 敬老の日はがき投函
- 12日(金) 敬老の日会
- 16~19日 身体測定
- 17日(水) 幼児体育指導
- 18日(木) 交通安全集会
- 19日(金) 職員会議
- 26日(金) お誕生会

### 10月の予定

- 1日(水) 運動会・総合練習
- 20~24日 身体測定
- 20~24日 職場体験(羽1・2年)
- 21日(火) 音楽指導
- 23日(木) 避難訓練
- 24日(金) 園外保育
- 28日(火) お誕生会
- 30日(木) 幼児体育指導
- 31日(金) 職員園内研修

### 10月11日(土) 親子運動会



\*場所…あさひ公園  
\*時間…8:30~12:30  
\*雨天…10月18日(土)

プログラムは後日配布いたします



### 不要になった古タオルがありましたら、保育園までお持ちいただくと助かります

前回、古タオル寄贈をお願いした際には多くの方よりご協力いただきありがとうございました。今回また雑巾用のタオルが足りなくなってきましたのでお願いをさせていただきます。もし不要な古タオルがありましたら担任までお渡しいただくと助かります。



## 9月1日は防災の日



本日、保護者の皆様にご協力いただき「総合防災訓練」を実施させていただきました。訓練内容として、[防災集会(災害時の避難の仕方について)][災害時の避難体験(ドライアイスを煙に見立てた避難)][避難食による給食(アルファ化米)][避難訓練(一時避難場所への移動→保護者の方への受け渡し)]を実施しました。



### 親子で防災チェック

#### ●注意点や必要なモノをチェック

災害が起きたとき、やるべきことはなにか、またどんな物が必要になるのかを調べておきましょう。子どもと一緒に自宅周辺を散歩しながら、避難場所までのルートも確認しておくといいですね。

身の周り、家の周りの危険性を確認しましょう。  
落下・転倒防止対策を行いましょう。  
火災防止対策を行いましょう。  
身の安全対策を行いましょう。  
家の中の安全チェックを行いましょう。

#### ●非常袋は子ども用品も忘れずに

非常用のアイテムをまとめて用意しておけば、もしものときにすぐに避難できたり、ライフラインがストップしてしまったときの備えにもなります。セットで売られている一般的な非常袋には子ども用のアイテムは入っていないので、おむつなど年齢に合わせて必要なモノを用意しておきましょう。

ミルク・哺乳瓶や離乳食・おむつ・おしりふき・子ども用の防災頭巾・子ども用の薬・下着・洋服・おもちゃなど



### 災害緊急時の園からの連絡

緊急時における安否情報については一斉メールに合わせ、「災害時用ホームページ」でも発信します。携帯電話からも閲覧できますので、ぜひお気に入りにご登録ください。なお閲覧の際にはユーザー名・パスワードの入力が必要となり、ユーザー名・パスワードともに「sun(小文字)」と入力下さい。

「お気に入り」に未登録の方は登録をお願いします。

太陽の子保育園  
災害時用ホームページ  
<http://taiyonoko.sblo.jp>



### 赤ちゃんがいる家庭

#### ●地震に備えたお部屋の見直しを!

ねんねの赤ちゃんの場合は、ベビーベッド周りを、おすわりしたり、一人遊びができる赤ちゃんなら、日頃遊んでいるリビングなどの空間で、ものが落ちたり倒れてくるものがないかを確認しましょう。



#### ●地震に備えたお部屋の見直しを!

タンスなどは倒れないように固定したり、タンス自体は倒れなくても、タンスの上に乘せている箱が落ちてくることもありますから、別の部屋に移動するなどしましょう。倒れ防止の突っ張り棒もありますが、可能なら壁に固定してしまう方が、安心です。赤ちゃんが過ごす空間にテレビがあることも多いと思いますが、地震でテレビが倒れてくることがあり、要注意です。地デジ化などでテレビが薄く大型になっている場合もあります。テレビ画面は不安定ですから、ひもなどを使って、壁に固定するなどしておきましょう。ものが多くて、安全な空間の確保が難しい場合には、テーブルの下に突っ張り棒のように補強できるものが、ホームセンターなどで売られています。そのようなものを利用するのも一案です。



#### ●地震が来たときの、とっさの行動

ママやパパが赤ちゃんと一緒にいれば、赤ちゃんと自分の安全の確保をしましょう。とっさの場合、安全な場所に移動できず、赤ちゃんを守るためにママやパパが覆い被さるといふこともあるかもしれませんが、ママやパパが負傷して動けなくなると、赤ちゃんを避難させられなくなります。基本的には、一緒に身を守ることを考えましょう。キッチンで煮物中など、火を使っている場合も、最近では基本的に自動的に火が消える設計になっているコンロも多くあります。別な部屋から、急いで火を消しに行くよりも、まずは赤ちゃんと自分の身を守り、落ち着いてから火を消しましょう。大きな地震で、移動が可能ならガスの元栓も切っておきましょう。キッチンは、食器や包丁など、倒れたり落ちてくると危険なものが多く危険です。赤ちゃんと一緒にキッチンにいた場合は、火を消して、安全な場所にすぐ移動しましょう。